

○ 第46回かび毒・自然毒等専門調査会

日時：平成29年2月20日（月）10：00～12：02

議事概要：

(1) フモニシンに係る食品健康影響評価について

- ・事務局より、毒性試験のまとめ及び毒性発現の機序について説明がなされた。
- ・広瀬専門参考人より、BMD法について及びBMDL10の試算について講演が行われた。
- ・フモニシンのTDIについては、もっとも低い用量で腎毒性がみられたラットにおける13週間亜急性毒性試験のNOAELに基づいて設定することとされた。

* フモニシン：主にフザリウム属が産生するかび毒。

ウマで白質脳軟化症、ブタで肺水腫といった臨床症状を示し、ヒトでは神経管閉鎖障害との関係が示唆されている。